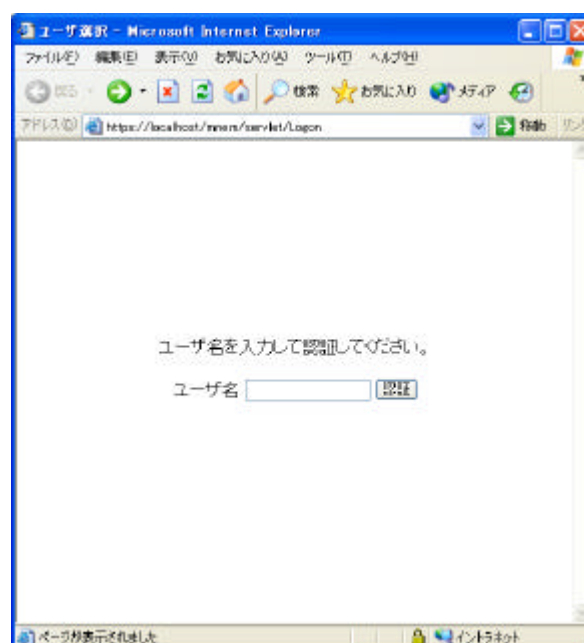


ニーモニックガード ウェブ認証 お試しコース操作説明書

V1.0

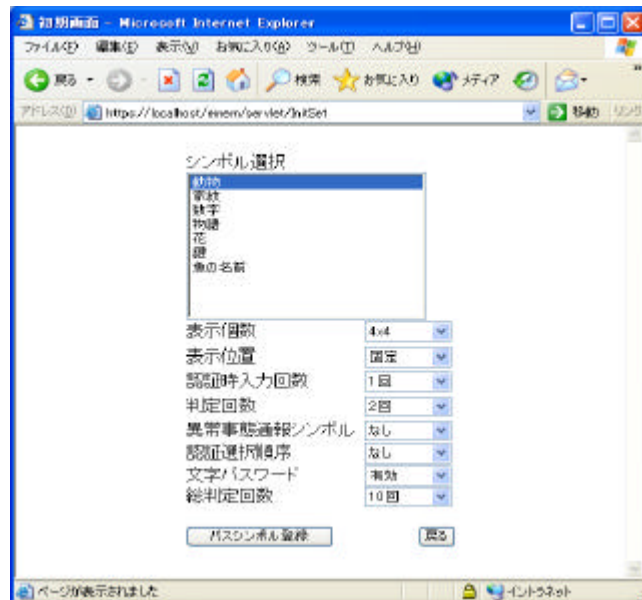
1. 当社ウェブサイトトップページで「メンバー」タブをクリックしますと、ログオン画面が現れます。登録Eメールアドレスに送信されたIDを入力して下さい。次に臨時パスワードを入力して下さい。



2. 臨時パスワードが照合されると左図のような「インターネットホスピタル」の仮想受付画面が現れます。

3. 登録手順

割当画面ボタンを押して下さい。
初期画面へ遷移します。



各登録情報について説明します。

項目	説明
シンボル選択	認証に使用するシンボルと画面を選択します。7種の認証画面が標準で用意されています。最大100画面まで拡張可能です。認証画面の内の一つをクリックして選択します。
表示回数	画面に表示するシンボル個数を決めます。「4×4」或いは「6×6」或いは「8×8」のいずれかを選択します。(「8×8」は自作認証画面の登録が可能になってからお試ください。)
表示位置	シンボルの画面での表示方法を決めます。「固定」或いは「ランダム」のどちらかを選択します。 「固定」: 認証シンボルはいつも決まった位置に表示されます。 「ランダム」: 認証シンボルは毎回違った位置に表示されます。
認証時入力回数	認証時に1回の入力で照合するか、2回同じ入力をして照合するかを決めます。「1回」或いは「2回」のどちらかを選択します。
判定回数	本人がおかす可能性の低い間違い入力 = 他人推定エラーを何度まで許容するかを決めます。不正使用判定となると一切の操作を不能として盗用・データ漏洩を防止します。「2回」から「9回」のいずれかを選択します。 注記: セッション単位でエラーをカウントしますのでブラウザを途中で閉じた場合は次回は0からカウントしなおします。
異常事態通報シンボル	所有者であることを認証した上で、脅迫状態にあることを脅迫者に知られることなくシステムに通知させるためのシンボルを登録することができます。様々な対応を可能とするための信号を発生させます。脅迫者に知られないために何のメッセージも表示されませんが、内部では処理されています。「あり」或いは「なし」のどちらかを選択します。
認証選択順序	シンボル登録に順序をつけるか、順序不問にするかを決めます。ストーリー付けの容易なシンボルの組合せに順序を付けるとセキュリティ強度を高く維持できます。順序不問ではセキュリティ強度は少し下がりますが認証操作は容易です。認証画面の性格に応じて使い分けて下さい。「あり」或いは「なし」のどちらかを選択します。 「あり」: 登録時の順序どおりにシンボルを選択したときに認証が完了します。 「なし」: 登録時のシンボルを選択したときに、順序を問わずに認証が完了します。

文字パスワード	<p>認証時に文字パスワードを選択可能にするかどうかを決めます。「有効」或いは「無効」のどちらかを選択します。</p> <p>「有効」: ユーザ選択画面から選択画面へ遷移して文字パスワードかシンボル認証かを選択することができます。シンボル認証に慣れない間は有効しておくことによってもし本人が誤って不正使用してしまった場合でも文字パスワード画面で認証を行いログインすることができます。その場合正しい文字パスワードでログインが完了した時点で不正使用状態が解除されますので次回からシンボル認証が選択できるようになります。</p> <p>「無効」: ユーザ選択画面からシンボル認証画面へ遷移します。不正使用になってしまった場合はサーバの管理者に対応してもらわない限りログインすることはできません。</p> <p>ご注意: 一度でも「無効」を選択して登録が完了すると次回から有効にすることはできません。</p>
総判定回数	<p>本人がおかす可能性の高い間違い入力 = 本人推定エラーを何度まで許容するかを決めます。5回を選択すると5回目の本人推定エラー入力で不正使用判定となります。不正使用判定となるとアクセスを拒絶すると同時に、成りすまし犯による不正アクセスを排除していることを管理者に通報します。「5回」、「10回」或いは「20回」のいずれかを選択します。</p> <p>注記: セッション単位でエラーをカウントしますのでブラウザを途中で閉じた場合は次回は0からカウントしなおします。</p>

- 1) 登録した後も再変更可能ですから、まずは「パスシンボル登録」をクリックして次に進んで下さい。パスシンボル登録ボタンを押下すると、シンボル登録画面へ遷移します。意図していた画面と違っていれば「戻る」をクリックして、認証設定画面に戻ってやり直します。



- 2) 意図した通りの画面であれば認証データとして登録すべきシンボルを2個以上随意的個数クリックして、最後に「入力」をクリックします。自分の昔の楽しかった思い出などと結びつけられるシンボルを登録すると長期間使わなくても忘れることなく簡単に思い出せます。「入力」ボタンが「再入力」ボタンに変わります。再確認のために同じ選択をもう一度繰り返してください。間違えた時には「クリア」をクリックして、やり直して下さい。「異常事態通報シンボルなし」を選択した場合にはこれで登録は終了です。

3) 「異常事態通報シンボルあり」を選択した場合には、「異常事態シンボル登録」画面が現れます。1個選択してクリックし「入力」をクリックします。



4) 「入力」ボタンが「再入力」ボタンに変わります。再確認のためにもう一度同じ操作を繰り返します。これで登録は終了です。

* キーボード入力操作

入力操作を覗き見され易い環境でマウスでのクリックのかわりにキーボードによる入力操作ができます。認証画面の下の方に「キーボードを使用するときはチェックしてください。」というチェックボックスがあります。「? キーボードを使用するときはチェックしてください。」のようにチェックすると以下のような画面になります。

選択するシンボル左したのアルファベット2文字のキーを順次入力するとマウスクリックしたのと同じ状態になります。

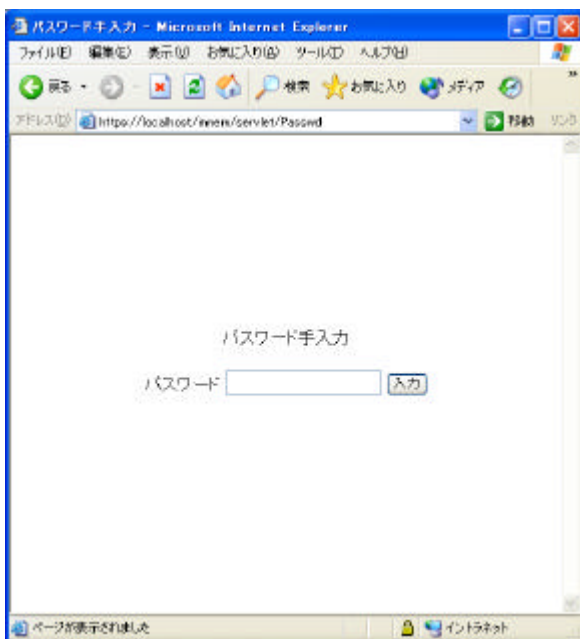
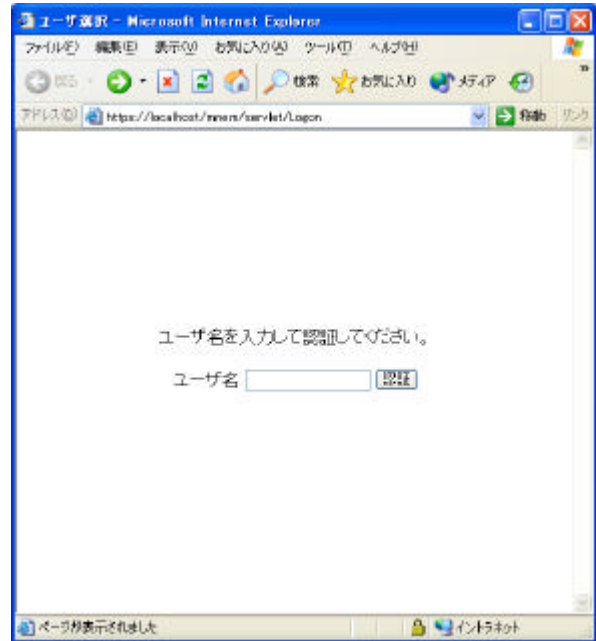
最後に入力ボタンを押下する必要があります。上図で猿と犬がシンボルパスワードの場合は「cmfk」とキーボード入力し、最後に入力ボタンを押下します。



注記：キーボード入力機能を使用している時には表示サイズの変更はできません。また、表示サイズが1/1以外の場合はキーボード入力機能は使用できません。

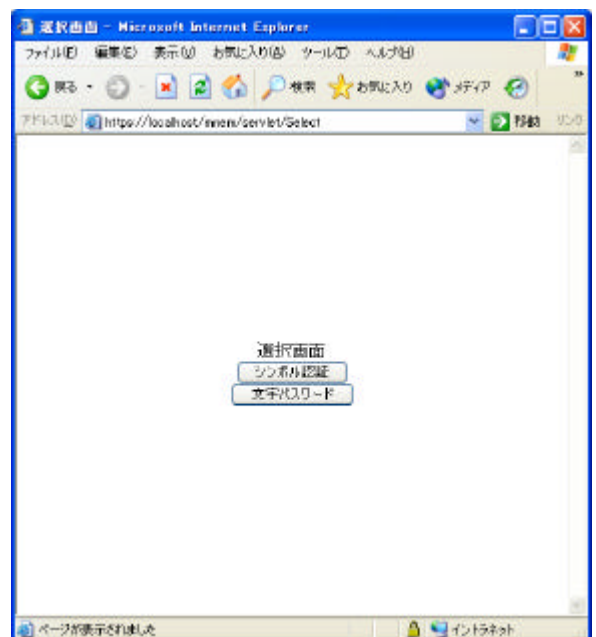
4. 認証手順

- 1) サーバへのアクセスが完了すると以下のようなユーザ選択画面が現れます。ここで「2.5 ユーザ登録手順」で登録したユーザ名を入力し、認証ボタンを押下します。

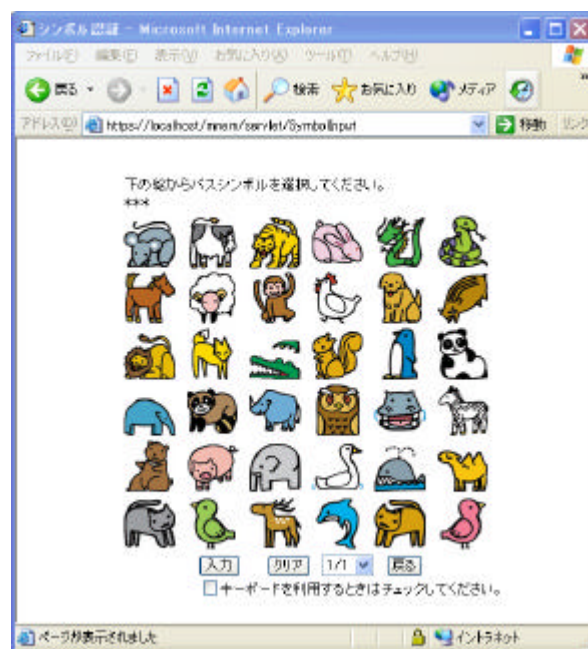


- 2) シンボル画面の割当設定を完了していない場合は以下のようなパスワード手入力画面へ遷移します。「2.5 ユーザ登録手順」で登録したパスワードを入力し、入力ボタンを押下します。パスワードが正しい場合は認証済みの画面へ進むことができます。

- 3) ユーザ選択画面からシンボル画面の割当設定が完了していて、且つその設定内容が文字パスワードが有効の設定になっているユーザを入力した場合は以下のような選択画面へ遷移します。文字パスワードボタンを押下した場合はパスワード手入力画面へ遷移しますので2)の手順に従ってください。シンボル認証ボタンを押した場合はシンボル認証画面へ遷移しますので4)の手順に従ってください。

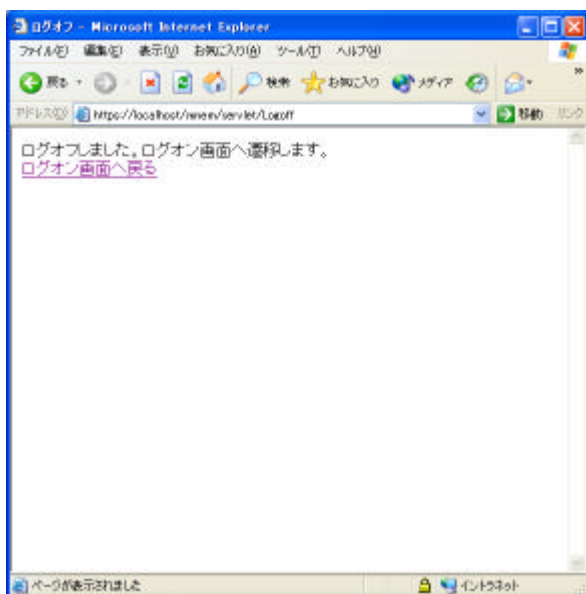


4) ユーザ選択画面からシンボル画面の割当設定が完了して、且つその設定内容が文字パスワードが無効の設定になっているユーザを入力した場合と選択画面からシンボル認証ボタンを押下した場合は以下のようなシンボル認証画面へ遷移します。シンボル画面の割当設定時に登録した認証シンボルをマウス左クリックで選択してください。シンボル1つ選択する毎に入力確認の“*”が表示されます。登録シンボルの選択が終わったら最後に入力ボタンを押下してください。選択したシンボルが正しければ認証済みの画面へ進むことができます。



5. ログオフ手順

認証済のページにはログオフボタンをつける必要があります。そのログオフボタンを押下すると以下のような画面へ遷移しログオフ処理が行われます。ログオフが行われていない場合は同じユーザでログオンすることはできません。



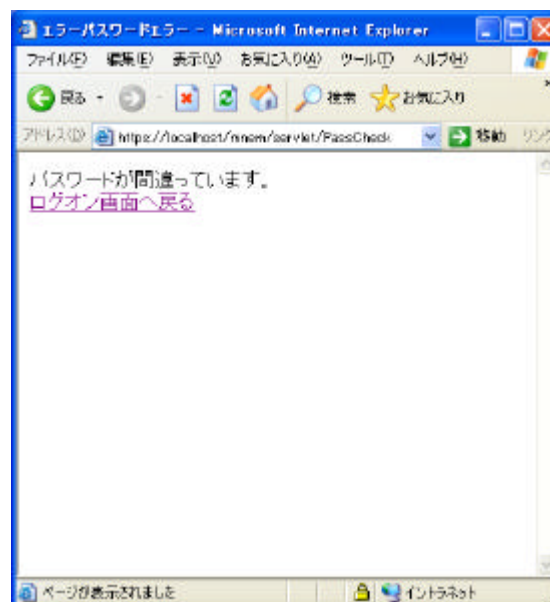
ブラウザの X ボタンなどで終了させてしまった場合は Tomcat で設定されているセッションのタイムアウトの時間だけ経過した後でないと同じユーザでログオンすることはできません。

6. 各種エラー画面説明

1) パスワードエラー

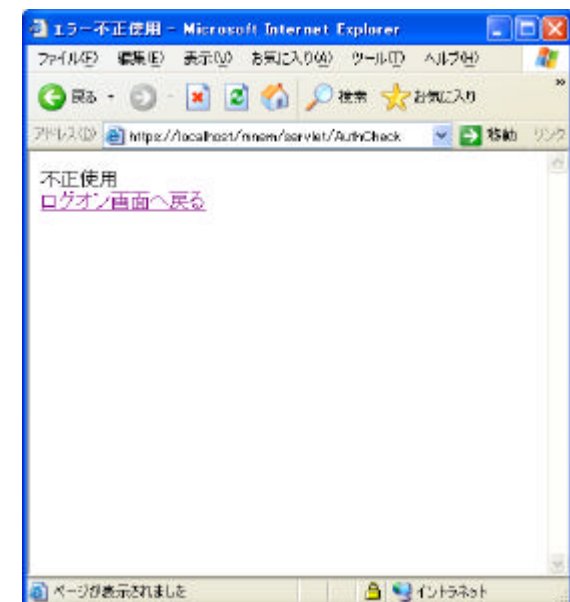
パスワード手入力画面で間違った文字パスワードを入力した場合以下のようなパスワードエラー画面を表示します。最初からやり直してください。

注記： ユーザ選択画面で存在しない間違ったユーザ名を入力してしまった場合も最終的にこの画面となります。



2) 不正使用

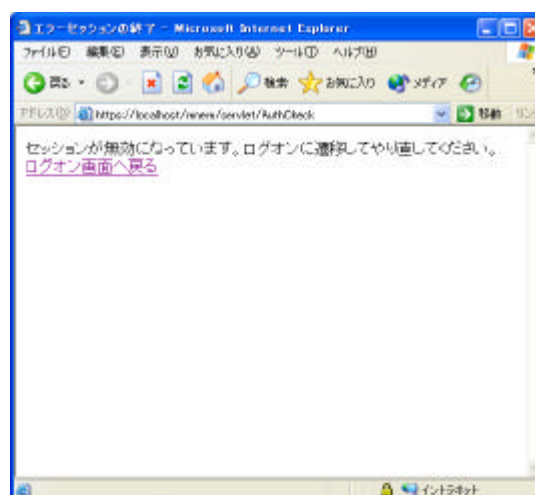
シンボル認証画面で他人推定になるパスシンボルを入力した回数が判定回数を越えた場合、以下のような不正使用画面へ遷移します。本人推定が総判定回数を越えた場合は不正使用になります。不正使用になりますと、ユーザ選択画面に戻ってユーザ名を入力しても、不正使用ユーザ画面へ遷移してシンボル認証画面ができなくなります。文字パスワードを有効に設定している場合はパスワード手入力画面に遷移しますので文字パスワードによる認証を行うことができます。文字パスワードによる認証が正しく行われた場合には不正使用状態は解除されます。文字パスワードを無効に設定されていて不正使用状態になった場合は、管理者に連絡して不正使用状態を解除してもらわないかぎり再度認証することはできません。



注記： 管理者側の不正使用状態の解除操作についてはニーモニックガードドメイン対応版サーバソフトの管理ソフト（ニーモニック管理 GUI）で行います。

3) セッションの終了

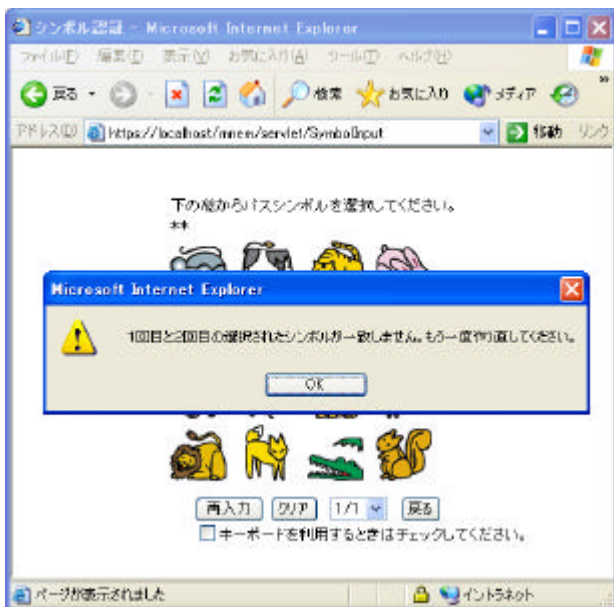
一定時間入力を行わないと以下のようなセッションの終了画面へ遷移し、ネットワークが遮断されセッションが無効になります。ユーザ選択画面へ戻ってやり直してください。



4) 各種警告

シンボル不一致

シンボル認証画面で本人推定になるパスシンボルを入力した場合、シンボル認証画面の上に“登録されたシンボルと一致しません。最初からやり直してください。”と表示されます。OKを選択してやり直してください。総判定回数の許容までトライすることができますがそれを超えると不正使用になります。



複数回入力チェック

シンボル認証画面で認証時入力回数が2回で設定されていた場合、1回目に入力したものと2回目に入力ものが異なる場合、シンボル認証画面の上に“1回目と2回目の選択されたシンボルが一致しません。もう一度やり直してください。”と表示されます。OKを選択してやり直してください。

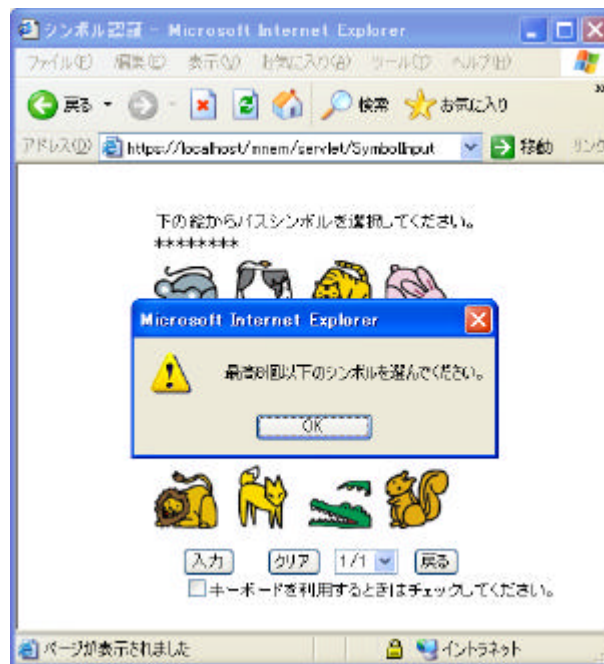
シンボル最低数

シンボル認証画面で1つ以下のシンボルしか選択せず入力ボタンを押下した場合、シンボル認証画面の上に“最低2個以上のシンボルを選択してください。”と表示されます。OKを選択してやり直してください。



シンボル最高数

シンボル認証画面で表示個数の半数以上のシンボルを選択した場合、シンボル認証画面の上に“最高？個以下のシンボルを選択してください。”と表示されます。OK を選択してやり直してください。表示個数数 4×4 (16) の場合 8 個以下、表示個数数 6×6 (36) の場合 18 個以下、表示個数数 8×8 (64) の場合 32 個以下、で選択しなければならない。



2003年5月09日

〒530-0057 大阪市北区曽根崎2丁目16番19号

りそな梅田ビル7階

有限会社 ニーモニック セキュリティ

Tel 06-6361-5311 Fax 06-6315-5271

E-mail: sales@mneme.co.jp

URL: <http://www.mneme.co.jp>

付録：ニーモニックガード ウェブ 版 画面遷移

